

正誤表

書名 令和5年1月 鉄道構造物等設計標準・同解説（コンクリート構造物） 第I編 基本原則/第II編 橋りょう

頁	項目	誤	正	対象刷																																			
140	解説表 5.5.3	<p>解説表 5.5.3 設計作用の組合せの例（橋脚、橋台）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>構造要素</th> <th>要求性能</th> <th>性能項目 (限界状態)</th> <th>設計作用の組合せ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">橋脚 橋台</td> <td rowspan="2">地震時の走行安全性 に係る変位</td> <td rowspan="2">構造 安全性 (変位・変 形の限界)</td> <td>・$1.0D_1+1.0D_2+I_d+1.0W_0+1.0E_0$……角折れ、目違い、振動変位</td> </tr> <tr> <td>・$1.1D_1+1.2D_2+1.1L+1.1F+I_d+1.0W_0+1.0E_0+1.1E_1$ ・$1.1D_1+1.2D_2+I_d+1.1B+I_d+1.0W_0+1.0E_0+1.0E_1$ ・$1.1D_1+1.2D_2+I_d+I+I+1.1L+1.1C+I_d+I+W+1.0W_0+1.0E_0+1.1E_1$ ・$1.1D_1+1.2D_2+1.2W+1.0W_0+I+1.0E_0$ ・$1.1D_1+1.2D_2+I+W+1.0W_0+1.2W_0+1.0E_0$ ・$1.0D_1+1.0D_2+I_d+1.0W_0+1.0E_0$</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">安全性</td> <td>(疲労破壊) ・$D_1+D_2+L+F+C$……繰返し載を考慮した照査 ・$1.0D_1+1.0D_2+1.1L+1.1F+1.1C$……構造用鋼材の疲労限の照査^{*)} ・$D_1+D_2+L_d+I+I_d+I+I_d$……ひび割れ</td> </tr> <tr> <td>外観</td> <td>・$D_1+D_2+L+F+B+E_0+W_0+E_0+E_1$……損傷^{*)} 残留変位^{*)} ・$D_1+D_2+L+F+C+L+I+W+W_0+E_0+E_1$……損傷^{*)} 残留変位^{*)} ・$D_1+D_2+W+W_0+E_0+E_1$……損傷^{*)} 残留変位^{*)} ・$D_1+D_2+W_0+E_0$……残留変位^{*)} ・$D_1+D_2+L+F+C+W_0+E_0+E_1$……残留変位^{*)} ・$D_1+D_2+L+W_0+E_0$……損傷^{*)} 残留変位^{*)}</td> </tr> <tr> <td>復旧性</td> <td>耐震性</td> <td>(損傷) (残留変位 の限界)</td> <td>・$1.0D_1+1.0D_2+I_d+1.0W_0+1.0E_0$……損傷^{*)} 残留変位^{*)}</td> </tr> </tbody> </table>	構造要素	要求性能	性能項目 (限界状態)	設計作用の組合せ	橋脚 橋台	地震時の走行安全性 に係る変位	構造 安全性 (変位・変 形の限界)	・ $1.0D_1+1.0D_2+I_d+1.0W_0+1.0E_0$ ……角折れ、目違い、振動変位	・ $1.1D_1+1.2D_2+1.1L+1.1F+I_d+1.0W_0+1.0E_0+1.1E_1$ ・ $1.1D_1+1.2D_2+I_d+1.1B+I_d+1.0W_0+1.0E_0+1.0E_1$ ・ $1.1D_1+1.2D_2+I_d+I+I+1.1L+1.1C+I_d+I+W+1.0W_0+1.0E_0+1.1E_1$ ・ $1.1D_1+1.2D_2+1.2W+1.0W_0+I+1.0E_0$ ・ $1.1D_1+1.2D_2+I+W+1.0W_0+1.2W_0+1.0E_0$ ・ $1.0D_1+1.0D_2+I_d+1.0W_0+1.0E_0$	安全性	(疲労破壊) ・ $D_1+D_2+L+F+C$ ……繰返し載を考慮した照査 ・ $1.0D_1+1.0D_2+1.1L+1.1F+1.1C$ ……構造用鋼材の疲労限の照査 ^{*)} ・ $D_1+D_2+L_d+I+I_d+I+I_d$ ……ひび割れ	外観	・ $D_1+D_2+L+F+B+E_0+W_0+E_0+E_1$ ……損傷 ^{*)} 残留変位 ^{*)} ・ $D_1+D_2+L+F+C+L+I+W+W_0+E_0+E_1$ ……損傷 ^{*)} 残留変位 ^{*)} ・ $D_1+D_2+W+W_0+E_0+E_1$ ……損傷 ^{*)} 残留変位 ^{*)} ・ $D_1+D_2+W_0+E_0$ ……残留変位 ^{*)} ・ $D_1+D_2+L+F+C+W_0+E_0+E_1$ ……残留変位 ^{*)} ・ $D_1+D_2+L+W_0+E_0$ ……損傷 ^{*)} 残留変位 ^{*)}	復旧性	耐震性	(損傷) (残留変位 の限界)	・ $1.0D_1+1.0D_2+I_d+1.0W_0+1.0E_0$ ……損傷 ^{*)} 残留変位 ^{*)}	<p>解説表 5.5.3 設計作用の組合せの例（橋脚、橋台）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>構造要素</th> <th>要求性能</th> <th>性能項目 (限界状態)</th> <th>設計作用の組合せ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">橋脚 橋台</td> <td rowspan="2">地震時の走行安全性 に係る変位</td> <td rowspan="2">構造 安全性 (変位・変 形の限界)</td> <td>・$1.0D_1+1.0D_2+I_d+1.0W_0+1.0E_0$……角折れ、目違い、振動変位</td> </tr> <tr> <td>・$1.1D_1+1.2D_2+1.1L+1.1F+I_d+1.0W_0+1.0E_0+1.1E_1$ ・$1.1D_1+1.2D_2+I_d+1.1B+I_d+1.0W_0+1.0E_0+1.0E_1$ ・$1.1D_1+1.2D_2+I_d+I+I+1.1L+1.1C+I_d+I+W+1.0W_0+1.0E_0+1.1E_1$ ・$1.1D_1+1.2D_2+1.2W+1.0W_0+I+1.0E_0$ ・$1.1D_1+1.2D_2+I+W+1.0W_0+1.2W_0+1.0E_0$ ・$1.0D_1+1.0D_2+I_d+1.0W_0+1.0E_0$</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">安全性</td> <td>(疲労破壊) ・$D_1+D_2+L+F+C$……繰返し載を考慮した照査 ・$1.0D_1+1.0D_2+1.1L+1.1F+1.1C$……構造用鋼材の疲労限の照査^{*)} ・$D_1+D_2+L_d+I+I_d+I+I_d$……ひび割れ</td> </tr> <tr> <td>使用性</td> <td>保守 (損傷) (残留変位 の限界)</td> <td>・$D_1+D_2+L+F+B+E_0+W_0+E_0+E_1$……損傷^{*)} 残留変位^{*)} ・$D_1+D_2+L+F+C+L+I+W+W_0+E_0+E_1$……損傷^{*)} 残留変位^{*)} ・$D_1+D_2+W+W_0+E_0+E_1$……損傷^{*)} 残留変位^{*)} ・$D_1+D_2+W_0+E_0$……残留変位^{*)} ・$D_1+D_2+L+F+C+W_0+E_0+E_1$……残留変位^{*)} ・$D_1+D_2+L+W_0+E_0$……損傷^{*)} 残留変位^{*)}</td> </tr> <tr> <td>復旧性</td> <td>修復性</td> <td>(損傷) (残留変位 の限界)</td> <td>・$1.0D_1+1.0D_2+I_d+1.0W_0+1.0E_0$……損傷^{*)} 残留変位^{*)}</td> </tr> </tbody> </table>	構造要素	要求性能	性能項目 (限界状態)	設計作用の組合せ	橋脚 橋台	地震時の走行安全性 に係る変位	構造 安全性 (変位・変 形の限界)	・ $1.0D_1+1.0D_2+I_d+1.0W_0+1.0E_0$ ……角折れ、目違い、振動変位	・ $1.1D_1+1.2D_2+1.1L+1.1F+I_d+1.0W_0+1.0E_0+1.1E_1$ ・ $1.1D_1+1.2D_2+I_d+1.1B+I_d+1.0W_0+1.0E_0+1.0E_1$ ・ $1.1D_1+1.2D_2+I_d+I+I+1.1L+1.1C+I_d+I+W+1.0W_0+1.0E_0+1.1E_1$ ・ $1.1D_1+1.2D_2+1.2W+1.0W_0+I+1.0E_0$ ・ $1.1D_1+1.2D_2+I+W+1.0W_0+1.2W_0+1.0E_0$ ・ $1.0D_1+1.0D_2+I_d+1.0W_0+1.0E_0$	安全性	(疲労破壊) ・ $D_1+D_2+L+F+C$ ……繰返し載を考慮した照査 ・ $1.0D_1+1.0D_2+1.1L+1.1F+1.1C$ ……構造用鋼材の疲労限の照査 ^{*)} ・ $D_1+D_2+L_d+I+I_d+I+I_d$ ……ひび割れ	使用性	保守 (損傷) (残留変位 の限界)	・ $D_1+D_2+L+F+B+E_0+W_0+E_0+E_1$ ……損傷 ^{*)} 残留変位 ^{*)} ・ $D_1+D_2+L+F+C+L+I+W+W_0+E_0+E_1$ ……損傷 ^{*)} 残留変位 ^{*)} ・ $D_1+D_2+W+W_0+E_0+E_1$ ……損傷 ^{*)} 残留変位 ^{*)} ・ $D_1+D_2+W_0+E_0$ ……残留変位 ^{*)} ・ $D_1+D_2+L+F+C+W_0+E_0+E_1$ ……残留変位 ^{*)} ・ $D_1+D_2+L+W_0+E_0$ ……損傷 ^{*)} 残留変位 ^{*)}	復旧性	修復性	(損傷) (残留変位 の限界)	・ $1.0D_1+1.0D_2+I_d+1.0W_0+1.0E_0$ ……損傷 ^{*)} 残留変位 ^{*)}	1刷
構造要素	要求性能	性能項目 (限界状態)	設計作用の組合せ																																				
橋脚 橋台	地震時の走行安全性 に係る変位	構造 安全性 (変位・変 形の限界)	・ $1.0D_1+1.0D_2+I_d+1.0W_0+1.0E_0$ ……角折れ、目違い、振動変位																																				
			・ $1.1D_1+1.2D_2+1.1L+1.1F+I_d+1.0W_0+1.0E_0+1.1E_1$ ・ $1.1D_1+1.2D_2+I_d+1.1B+I_d+1.0W_0+1.0E_0+1.0E_1$ ・ $1.1D_1+1.2D_2+I_d+I+I+1.1L+1.1C+I_d+I+W+1.0W_0+1.0E_0+1.1E_1$ ・ $1.1D_1+1.2D_2+1.2W+1.0W_0+I+1.0E_0$ ・ $1.1D_1+1.2D_2+I+W+1.0W_0+1.2W_0+1.0E_0$ ・ $1.0D_1+1.0D_2+I_d+1.0W_0+1.0E_0$																																				
	安全性	(疲労破壊) ・ $D_1+D_2+L+F+C$ ……繰返し載を考慮した照査 ・ $1.0D_1+1.0D_2+1.1L+1.1F+1.1C$ ……構造用鋼材の疲労限の照査 ^{*)} ・ $D_1+D_2+L_d+I+I_d+I+I_d$ ……ひび割れ																																					
		外観	・ $D_1+D_2+L+F+B+E_0+W_0+E_0+E_1$ ……損傷 ^{*)} 残留変位 ^{*)} ・ $D_1+D_2+L+F+C+L+I+W+W_0+E_0+E_1$ ……損傷 ^{*)} 残留変位 ^{*)} ・ $D_1+D_2+W+W_0+E_0+E_1$ ……損傷 ^{*)} 残留変位 ^{*)} ・ $D_1+D_2+W_0+E_0$ ……残留変位 ^{*)} ・ $D_1+D_2+L+F+C+W_0+E_0+E_1$ ……残留変位 ^{*)} ・ $D_1+D_2+L+W_0+E_0$ ……損傷 ^{*)} 残留変位 ^{*)}																																				
復旧性	耐震性	(損傷) (残留変位 の限界)	・ $1.0D_1+1.0D_2+I_d+1.0W_0+1.0E_0$ ……損傷 ^{*)} 残留変位 ^{*)}																																				
構造要素	要求性能	性能項目 (限界状態)	設計作用の組合せ																																				
橋脚 橋台	地震時の走行安全性 に係る変位	構造 安全性 (変位・変 形の限界)	・ $1.0D_1+1.0D_2+I_d+1.0W_0+1.0E_0$ ……角折れ、目違い、振動変位																																				
			・ $1.1D_1+1.2D_2+1.1L+1.1F+I_d+1.0W_0+1.0E_0+1.1E_1$ ・ $1.1D_1+1.2D_2+I_d+1.1B+I_d+1.0W_0+1.0E_0+1.0E_1$ ・ $1.1D_1+1.2D_2+I_d+I+I+1.1L+1.1C+I_d+I+W+1.0W_0+1.0E_0+1.1E_1$ ・ $1.1D_1+1.2D_2+1.2W+1.0W_0+I+1.0E_0$ ・ $1.1D_1+1.2D_2+I+W+1.0W_0+1.2W_0+1.0E_0$ ・ $1.0D_1+1.0D_2+I_d+1.0W_0+1.0E_0$																																				
	安全性	(疲労破壊) ・ $D_1+D_2+L+F+C$ ……繰返し載を考慮した照査 ・ $1.0D_1+1.0D_2+1.1L+1.1F+1.1C$ ……構造用鋼材の疲労限の照査 ^{*)} ・ $D_1+D_2+L_d+I+I_d+I+I_d$ ……ひび割れ																																					
		使用性	保守 (損傷) (残留変位 の限界)	・ $D_1+D_2+L+F+B+E_0+W_0+E_0+E_1$ ……損傷 ^{*)} 残留変位 ^{*)} ・ $D_1+D_2+L+F+C+L+I+W+W_0+E_0+E_1$ ……損傷 ^{*)} 残留変位 ^{*)} ・ $D_1+D_2+W+W_0+E_0+E_1$ ……損傷 ^{*)} 残留変位 ^{*)} ・ $D_1+D_2+W_0+E_0$ ……残留変位 ^{*)} ・ $D_1+D_2+L+F+C+W_0+E_0+E_1$ ……残留変位 ^{*)} ・ $D_1+D_2+L+W_0+E_0$ ……損傷 ^{*)} 残留変位 ^{*)}																																			
復旧性	修復性	(損傷) (残留変位 の限界)	・ $1.0D_1+1.0D_2+I_d+1.0W_0+1.0E_0$ ……損傷 ^{*)} 残留変位 ^{*)}																																				
163	解説表 7.10.1.2)	<p>2) 連続形式橋りょう</p> <p>図 7.10.1.2-2 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-3 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-4 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-5 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-6 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-7 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-8 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-9 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-10 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-11 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-12 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-13 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-14 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-15 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-16 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-17 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-18 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-19 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-20 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-21 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-22 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-23 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-24 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-25 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-26 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-27 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-28 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-29 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-30 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-31 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-32 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-33 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-34 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-35 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-36 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-37 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-38 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-39 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-40 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-41 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-42 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-43 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-44 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-45 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-46 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-47 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-48 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-49 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-50 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-51 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-52 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-53 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-54 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-55 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-56 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-57 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-58 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-59 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-60 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-61 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-62 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-63 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-64 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-65 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-66 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-67 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-68 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-69 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-70 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-71 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-72 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-73 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-74 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-75 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-76 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-77 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-78 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-79 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-80 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-81 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-82 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-83 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-84 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-85 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-86 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-87 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-88 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-89 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-90 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-91 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-92 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-93 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-94 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-95 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-96 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-97 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-98 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-99 連続形式橋りょうの構造形式</p> <p>図 7.10.1.2-100 連続形式橋りょうの構造形式</p>	<p>赤枠内を差し替え</p>	1刷																																			

正誤表

書名 令和5年1月 鉄道構造物等設計標準・同解説（コンクリート構造物） 第I編 基本原則/第II編 橋りょう

頁	項目	誤	正	対象刷
170	解説図 7.10.5 (a)	<p>①基礎・壁体の抵抗特性(正負対象)</p> <p>②背面盛土の抵抗特性(正負非対称)</p> <p>③抗土圧橋台の抵抗特性(正負非対称) (=①+②)</p>	<p>①基礎・壁体の抵抗特性(正負対称)</p> <p>②背面盛土の抵抗特性(正負非対称)</p> <p>③抗土圧橋台の抵抗特性(正負非対称) (=①+②)</p>	1刷
259	解説図 11.5.1	<p>(a) 合成応力度 (b) 中心荷重による曲げ応力度 (c) 拘束ねじりによる軸方向応力度</p>	<p>(a) 合成応力度 (b) 中心荷重による曲げ応力度 (c) 拘束ねじりによる軸方向応力度</p> <p>・(a)桁Iの応力度分布の実線追加 ・(a)(b)(c)応力度のハッチング</p>	1刷
274	解説図 11.8.4	<p>水平方向鉄筋 (D13@150~200) 鉛直方向鉄筋 (D16@200~300)</p> <p>h: 支店断面の桁高</p>	<p>水平方向鉄筋 (D13@150~200) 鉛直方向鉄筋 (D16@200~300)</p> <p>h: 支点断面の桁高</p>	1刷

正誤表

書名 令和5年1月 鉄道構造物等設計標準・同解説（コンクリート構造物） 第I編 基本原則/第II編 橋りょう

頁	項目	誤	正	対象刷
282	11.11.2.1 解説 下から3行目	「なお、常時とは、地震の影響と組み合わせない載荷状態をいう」	削除	1刷
283	11.11.2.1 解説 上から2行目	「(a)(iii)で桁が単純桁で橋脚が橋軸方向に対してラーメン構造である場合、 αh は地震時においても1/2としてよいとしたのは、ラーメン構造は不静定次数が高く、じん性にも優れていることを考慮したものである。」	削除	1刷
314	式(11.13.2)	$a_x = 1 + \frac{\Sigma d_y \cdot e}{\Sigma (d_x \cdot y^2 + d_y \cdot x^2 + M_t)} \cdot y$	$a_x = \frac{\Sigma d_y \cdot e}{\Sigma (d_x \cdot y^2 + d_y \cdot x^2 + M_t)} \cdot y$	1刷
317	式(解 11.13.5)	$P \cdot e = \Sigma (H_y \cdot x + H_y \cdot y + M_t)$	$P \cdot e = \Sigma (H_y \cdot x + H_y \cdot y + M'_t)$	1刷

正誤表

書名 令和5年1月 鉄道構造物等設計標準・同解説（コンクリート構造物） 第I編 基本原則/第II編 橋りょう

頁	項目	誤	正	対象刷
339	11.18.3 解説 下から3行目	コンクリートの品質，打設，養生，・・・	コンクリートの品質， 打込み ，養生，・・・	1刷